

氷上小学校

1. 団体名 氷上小緑の少年団
2. 所在地 三木町木田郡大字氷上 2845 番地
3. 団員数 全校児童
4. 活動内容

①委員会活動

栽培委員で話し合い、花・環境・人に優しい委員会活動にしたいという願いをこめ、「やさしいフラワー委員会」と名付けた。めあてを達成できるように、委員全員で協力して花を育て、水やり当番活動により、責任感も育まれている。また、プランターを玄関前に設置し見てもらえるように環境を整えることで、来校者や本校児童の心を和ませている。

「人に優しく」する活動の一環で、近くの幼稚園への花の贈呈を計画した。5月にマリーゴールド、サルビア、ケイトウの花の種を植えた。種から育てることで愛着を持って世話をし、贈る相手がいることで、責任をもって育てる児童の姿が見られた。幼稚園へ贈呈する際には、「心を込めて育てた花をこれからも大切に育ててほしい。」と、伝えていた。

②一人一鉢学習（1～4年生）

【1年生】：生活科の学習で、一人一鉢アサガオを育てている。毎日水やりをして、生長の過程を観察したり、咲いた花で色水を作ったりしながら、植物に親しんでいる。

【2年生】：生活科の学習で、一人一鉢ミニトマトを育てたり、グループで1つ野菜を選んで育てたりしている。グループでお世話を分担し、協力して育てた後は、収穫した野菜をそれぞれ持ち帰って味わうとともに、自然の恵みを感じている。

【3年生】：理科の学習で、一人一鉢ホウセンカを育てている。また、グループで協力し、ピーマン、ヒマワリ、オクラなどを育てている。毎日の世話や観察を通して、今まで育ててきた植物と比較して、同じところや違うところを見つけ、自然の奥深さを感じている。

【4年生】：理科の学習でヘチマを育て、グリーンカーテンとして利用している。世話や観察を通してヘチマの生長と気温の関係に気付くと、生き物を取り巻く自然環境に興味をもつようになった。

【特別支援学級】：自立活動の「夏野菜を育てよう」という学習で、一人一人が育てたい野菜を選んで、毎日世話をし、収穫することの喜びを感じている。

③環境教育

4年生が総合的な学習の時間で学習したことをもとにして、リサイクルの必要性を知らせ、自分たちにもできるリサイクル活動（アルミ缶・牛乳パックの回収）を行っている。

5. 学校からの一言コメント

低学年から植物を育て、世話することの大変さや協力の大切さを実感したり、育てた植物が大きく生長する様子を見続け、植物に対する愛情や達成感を得たりすることができました。委員会では、校内緑化の活動により、学校をよりよくしたいと考えるきっかけになっています。これからもこのような活動を通して、児童の豊かな心を育てていきたいです。

